

映画上映会 & 「私たちはどんな食べものを選ぶのか」 ご案内

# 映画「パパ遺伝子組み換えってなあに？」 ・「遺伝子組み換えルーレット」2本上映

日時：2016年3月8日（火）受付・開場 10:00 開始 10:30 終了 16:00

※映画開始 15分以降は出入りできません。

場所：大阪府男女共同参画・青少年センター（ドーンセンター）5階 視聴覚スタジオ  
（京阪「天満橋」駅、地下鉄谷町線「天満橋」駅、JR東西線「大阪城北詰」駅）

<http://www.dawncenter.or.jp/top/index.jsp>

参加費：1,000円（会員800円）※鑑賞映画の本数に関係なく参加費は同じです。

\*国際シンポジウム2015記録集をプレゼント

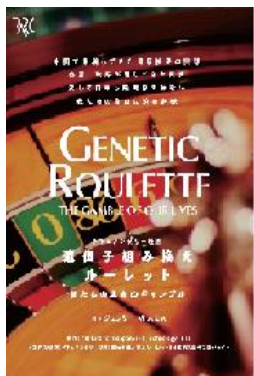
申込み：たねと食とひと@フォーラム事務局 名前、人数、連絡先、鑑賞を希望する映画名を明記の上、

Email：[info@nongmseed.jp](mailto:info@nongmseed.jp) または FAX：03-6869-7204 にてお申込みください。

★定員になり次第、  
受付を締め切らせて  
いただきます。



「パパ遺伝子組み換えってなあに？」 3人の子どもを持ったことで“食”について考えるようになった一人の父親であり、映画監督であるジェレミー・セイファートは、種が大好きな長男の影響もあって「遺伝子組み換え作物=GMO」に興味を持つ。アメリカでは表示義務がないため、GM食品の存在自体がほぼ知られていないのが現状。ジェレミーは疑問に思い、家族と共にGM食品の謎を解く旅に出る。モンサント本社やノルウェーにある種を補完する“種子銀行”の巨大な冷凍貯蔵庫、GM食品の長期給餌実験を行ったフランスのセラリーニ教授など、世界各国への取材を重ねるうちに、徐々に明るみになっていく食産業の実態にジェレミーは言葉を失う。本作はGM食品の真実を追うドキュメンタリーでありながら、『どんな食べものを家族で選択していくのか』という答えを見つけるまでの、家族の成長物語。この旅の最後に、ジェレミーの家族は何を選択していくのか。



「遺伝子組み換えルーレット」 GM問題の専門家として国際的に著名なジェフリー・M・スミス氏が制作。米国で起こっているGM食品による健康被害。この作品では医学・医療関係者、政府の食品安全審査に関わる研究者、自閉症やアレルギーに苦しむ子どもの親たち、家畜の健康障害を扱った獣医など、多数の証言と科学的根拠(エビデンス)からその実態を浮かび上がらせる。GM作物を米国から大量に輸入する日本も決して無関係ではない。家族の健康、食を私たちの手に取り戻すため、まず何をしたらいいのか、さらには社会の食のシステムをどう変えていけばいいのか、本作品を通じてともに考え行動しましょう。(PARCサイトより引用)

## プログラム

- 10:30 はじめに
- 10:35 「パパ遺伝子組み換えってなあに？」(85分)
- 12:00 休憩(10分)
- 12:15 遺伝子組み換え食品表示国際シンポジウム報告/生活クラブ組合員食品表示の問題点について/西分千秋
- 13:15 休憩(60分)
- 14:15 「遺伝子組み換えルーレット」(85分)
- 15:45 終わりに

主催 たねと食とひと@フォーラム協賛

生活クラブ生活協同組合大阪  
生活協同組合生活クラブ京都エル・コープ

生活クラブ生活協同組合奈良  
生活クラブ生活協同組合滋賀  
生活協同組合エスコープ大阪  
生活クラブ生活協同組合都市生活  
食品表示を考える市民ネットワーク

◆視聴覚スタジオで昼食をとることができます。

◆この企画は地球環境基金の助成を受けて実施します。

